

幸手市国際交流協会だより

編集発行 幸手市国際交流協会 事務局 幸手市総務部政策調整課内
〒340-0192 埼玉県幸手市東4-6-8 TEL 0480(43)1111内線(4401) FAX 0480(43)3783
E-mail seisaku@city.satte.saitama.jp

2003年10月
第5号

幸手市出身の土田隆裕さんが、青年海外協力隊員として、アフリカのタンザニアの職業訓練校でボランティアをしています。

遠くタンザニアから、レポートをいただきましたので、みなさんにご紹介します。

(詳しくは2ページ)



マサイ村の人達と私

総 会

平成15年度の総会は、6月28日(土)、幸手市コミュニティセンターにおいて、会員の皆さまに多数ご出席いただき、開催されました。

総会では、平成14(2002)年度事業報告、決算報告がされ、会則の一部改正、平成15(2003)年度事業計画、収支予算が原案どおり決定されました。また、総会終了後、多くの外国人タレントが



稲川素子さん、交流パーティにもご参加いただきました。

所属する芸能プロダクション社長の稲川素子さんを招いて、講演会を開催しました。外国人との接し方など、国際交流の原点を学んだ研修でした。

主 な 内 容

2003年度前半の事業報告をします

- 国際交流協会総会 P. 1
- 特集 発見!
私のまちの国際交流 P. 2
青年海外協力隊の土田さんからのレポート
- 世界の料理教室 P. 3
- 英語って楽しい!
夏休みこども英会話教室
英語に親しむ会 P. 4
- 会員募集! P. 4

特集

発見！私のまちの国際交流



タンザニアから幸手市のみなさんへ

(青年海外協力隊 土田隆裕さんからのレポート)

幸手市出身の土田隆裕さんが、現在、アフリカのタンザニアで、青年海外協力隊員として、ご活躍されています。

積極的に、海外協力を実践している土田さんからレポートをいただきました。

国際交流・国際協力とは？

土田さんのレポートをお読みいただき、遠くキリマンジャロのふもとを思い浮かべながら、改めて、考えてみませんか。

幸手市民の皆様へ

私は現在、青年海外協力隊、自動車整備隊員として、タンザニア連合共和国にあるキリマンジャロ青年技術訓練センターで活動させていただいています。

皆様は「アフリカ」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか？私はさぞかし飢餓や、貧困を目の当たりにするのだろうと思っていました。しかし、ここタンザニアはLLDC（最後発発展途上国）と言われながらも、それほど際立った飢餓はなく、近隣諸国に比べると平和で、キリマンジャロやセレンゲティー、ンゴロンゴロといった国立公園などの観光資源も持っており、とてもいい国です。然しながら発展途上国だけに貧困問題や社会インフラの整備は進んでおらず、豊かな環境で育った私にとってタンザニアでの生活は「驚き」の連続です。

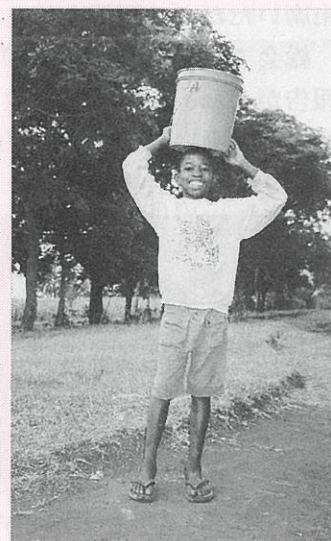
「時間」の感覚の違いはよく日本でも言われていますが、分刻みで動く私たちにとって、時間単位で動くタンザニアの生活に慣れるのは一苦労です。例えば、移動手段である乗り合いバス（乗り合いバスといっても乗車制限は無く、トヨタハイエースに20人以上もの人を乗せます）に時刻表などはなく、人が一杯になるまで出発しませんし、人と待ち合わせをして遅れてきた時も、悪びれた様子は全くありません。待ち時間の虚しさといったら…。

青年海外協力隊は、開発途上国の人々と共に暮らし、共に働くことにより、その国の人づくり、国づくりに協力する事業です。（国際協力事業団（JICA）を実施機関とする国の事業）



まだこのようなバスが現役！ バス乗り場にて

「水」、「電気」これらをこれほど貴重に感じたときがあったでしょうか。私達にとって水や電気は当然のようにあるものです。私たちの生活で水や電気がない生活を想像できるでしょうか？想像し難いものがあります。ここタンザニアにおいては水や電気が無い生活が当たり前、という言い過ぎかもしれませんが、そんな生活をしている人々がいます。主に水汲みは子供たちの仕事で、バケツ一杯の水を頭に載せては何キロもの道を歩いて家まで運びます。そんな子供達の姿を見ていると感心させられる一方、切なくもなります。しかし子供達は苦労だなんて思っていないでしょう、それが当然の生活ですから。



水汲みに行く少年

そのほかにも「四季」の素晴らしさを感じられたことは、乾季と雨季という変化の無い生活をして気付かされたことで、友人の送ってくれた一枚の桜の写真を見て、感動しては「時」が経過しているということを実感したものです。ずっと日本に住んでいたなら今以上に四季の良さは感じられなかったでしょう。

日本とタンザニアを比較していくと、日本という国がどんな国であるか良く見えてきます。タンザニアの人達が、日本と便利さを比較できたら、どんなに羨む事でしょう。でも実際に日本に住んでみたら忙しさに嫌気がさすかもしれませんね。「豊かさ」とは？そんな答えが、発展途上国と比較することにより見つかるような気がします。



サッカーの交流試合にて、
ゴールが決まり喜ぶ生徒達

最後になりますが、わたしが国際協力というものに関われたことで得られたものは多く、ぜひ皆様が幸手市国際交流協会に参加され、新たな自分を見つけるきっかけづくりができることを願っています。



アフリカ最高峰キリマンジャロと自宅（右下）

世界の料理教室 (中央公民館と共催)

7月20日と7月27日の2回にわたって、世界の料理教室が中央公民館にて開催されました。

当教室は、市内在住の外国人が母国料理を市民とともに作ることにより、国際交流の推進を図ることを目的としています。

今回の参加者は19人。フィリピン出身の高田ロリータさんと潮来ジェンマさんを講師に迎えて、いっしょにフィリピン料理を楽しみました。

その中から、「フィリピン春巻」のレシピを紹介します。

LUMPIANG SHANGHAI (フィリピン春巻)



材料（4人分）

ひき肉	200g
セロリ	1/2
玉ねぎ	1/2
にんじん	1/2
パン粉	カップ1/2
玉子	1個
塩	小1 1/2
こしょう	少々
味の素	小1
しょう油	小1
ピザ用チーズ	20g
春巻の皮	1パック
油	

(作り方)

- 1) ボールにひき肉を入れて、みじん切りにしたセロリ・玉ねぎ・にんじんを入れる。その後パン粉・玉子・塩・こしょう・味の素・しょう油を入れて混ぜ、最後にチーズを入れてよく混ぜる。
- 2) 春巻の皮に入れて油で揚げる。



参加者のみなさんは、料理をつくりながら、だんだんフィリピンが身近に感じられるようになりました。

英語って楽しい!

夏休みこども英会話教室



広いフロアで遊びながら楽しく英会話

今年度の新規事業として、小学生を対象にした「夏休みこども英会話教室」を開催しました。

講師は、普段からこどもたちに英会話を教えている河端礼子先生にお願いしました。

教室は、学校が夏休み中の毎週1回、全5回、南公民館の集会室で行いました。子どもたちは、学校や学年の違う他の参加者と、お絵描きやゲームをしながら、にぎやかに、楽しく英語を学ぶことができましたようです。

次回も英語教室に参加したいという声も聞かれました。また開催できるよう計画しますので、今回参加できなかった方も、ぜひご参加ください。

英語に親しむ会

昨年度好評で、要望も多かった「英語に親しむ会」。講師は、子ども英会話教室でもお世話になった河端礼子先生にお願いいたしました。

今回幅広い年齢層の中から男性が6名、女性が14名参加していただきました。初日は、先生が自己紹介をかねて、英語で生徒さんに質問していき、緊張をほぐしてくれました。生徒さんも、その質問に何とか答えようと奮闘。もちろんわからないときは、先生がすぐにフォロー。そうしていくうちに、雰囲気もなごやかになり、楽しく授業がすすみました。



9月～10月の毎週木曜日、全8回行われています。

会員募集中

ボランティアやスタッフも募集しています

当協会では、随時、会員を募集しています。

趣旨にご賛同いただける方ならどなたでも入会できます。

なお、今年度の総会で、お子さんも含めて、ご家族で事業にご参加いただけるよう、家族会員を設けました。

また、会費の減額を図るため、メール登録を設定しましたので、ぜひご入会ください。

ボランティアスタッフ募集!

協会の事業の企画・運営をしてみませんか。あなたの力を国際交流にお役立てください。興味のある方は、事務局までお問合せを。

編集後記

タンザニアの土田さん、ご苦労様。身近で行なわれている国際交流の情報をお待ちしています。更に、充実した内容に致したくご協力下さい。

[入会方法]

申込書(市役所、各公民館等で配布)に必要な事項を記入のうえ、会費を添えて事務局までお申し込みください。(会費は銀行振込もできます。)

[年会費]

個人会員	1口	2,000円
家族会員	1口	3,500円
学生会員	1口	1,000円
団体会員	1口	5,000円
法人会員	1口	10,000円

※個人会員及び家族会員は、協会との連絡方法を、主に電子メールとして、メールアドレス(携帯電話以外)を登録した場合は、500円減額となります。

[外国人の人口]

平成15年9月1日現在
合計542人(男性260人、女性282人)